

勾留等請求通付票

001/001

令和〇年〇月〇日（昨日の日付）

[illegible]

通常
ただし中華人民共和
国領事官を除く。

【懷燕記錄①】
勾留等情未覆付票】

【模擬記録② 勾留質問者名簿】

特記事項	No.	勾留場所	留置番号	請求者	被疑者氏名	受	渡	接禁 請求	勾留 結果	接禁 結果	備考欄	
											情報	出頭時間
質問日	外	1	テスト第一	㊤ B	陳 富春 こと チェン フーチュン			○ 研			北京語 〇〇〇 〇 (中国)	11:20
0・0・0		2		A B							語 ()	
質問室		3		A B							語 ()	
2		4		A B							語 ()	
		5		A B							語 ()	
		6		A B							語 ()	
		7		A B							語 ()	
		8		A B							語 ()	
		9		A B							語 ()	
		10		A B							語 ()	
		11		A B							語 ()	
		12		A B							語 ()	
		13		A B							語 ()	
		14		A B							語 ()	
		15		A B							語 ()	

勾留質問者名簿

△○
△○
裁判官

【模擬記録③ 勾留請求書】

勾留請求書

令和〇年〇月〇日【昨日の日付】

東京テスト地方裁判所 裁判官 殿

東京テスト地方検察庁

検察官検事 四谷 次郎㊟

下記被疑者に対する住居侵入、窃盗被疑事件につき、被疑者の勾留を請求する。
なお、被疑者欄中年齢、職業若しくは住居又は被疑事実の要旨欄のうち空欄は、
逮捕状請求書記載のとおりである。

記

1 被疑者

氏 名 陳 富春 こと チェン フーチュン

年 齢 1982年7月8日生(〇〇歳)

職 業 会社員

住 居 東京都千代田区隼町1丁目1番4号 ちさいマンション429号

2 被疑事実の要旨

司法警察員事件送致書記載の犯罪事実

3 勾留すべき刑事施設

テスト第一警察署留置施設

4 被疑者に弁護人があるときは、その氏名

5 被疑者が現行犯人として逮捕された者であるときは、罪を犯したことを疑うに足
りる相当な理由

通常逮捕手続書記載のとおり。

6 刑事訴訟法第60条第1項各号に定める事由

刑事訴訟法第60条第1項第 2, 3 号

7 検察官又は司法警察職員がやむを得ない事情によって刑事訴訟法に定める時間
の制限に従うことができなかったときは、その事由

【模擬記録④ 接見等禁止請求書】

接見等禁止請求書

令和〇年〇月〇日【昨日の日付】

東京テスト地方裁判所 裁判官 殿

東京テスト地方検察庁

検察官検事 四谷 次郎 ㊟

被疑者 陳 富春 こと チェン フーチュン（テスト第一警察署留置施設収容） に対する住居侵入，窃盗被疑事件につき，罪証を隠滅すると疑うに足りる相当な理由があるから，被疑者と刑事訴訟法第39条1項に規定する者以外の者（ただし，被疑者の勾留されている刑事施設に置かれた刑事施設視察委員会及び同会委員並びに被疑者の勾留されている留置施設に係る留置施設視察委員会及び同会委員を除く。）との交通につき，下記事項に関する裁判をされたい。

記

- 1 接見の禁止（ただし，中華人民共和国領事官を除く）
- 2 書類の授受の禁止

【模擬記録⑤ 送致書】

1 2 3 4						関 ①	主任検察官 四谷	
不拘束	通常	緊急	現行	告訴	告発	自首		

送 致 書

送（テスト第一，盗犯）第567号
令和〇年〇月〇日

東京テスト地方検察庁
検察官検事正 〇〇 〇〇 殿

警視庁テスト第一警察署
司法警察員警視 〇〇 〇〇

下記被疑事件を送致する。

検番号 罪名，罰条	被疑者の住居，氏名，年齢等	前科	身上	逮捕の 日時	身柄 連行
検第1234号 住居侵入， 窃盗 刑法第13 0条前段， 第235条	住居 東京都千代田区隼町1丁目1番4号 ちさいマンション429号 ふりがな ちえん ふーちゅん 氏名 陳 富春 こと チェン フーチュン 1982年7月8日生（〇〇歳） 性別 男 外国人登録 2004年10月 No.654321	添付 〇月 〇日 照会	添付 〇月 〇日 照会	〇月 〇日 午前 〇時 〇分	有 無
検第 号	住居 ふりがな 氏名 年 月 日生（ 歳） 性別 外国人登録 年 月 No.	添付 月 日 照会	添付 月 日 照会	月 日 午 時 分	有 無
検第 号	住居 ふりがな 氏名 年 月 日生（ 歳） 性別 外国人登録 年 月 No.	添付 月 日 照会	添付 月 日 照会	月 日 午 時 分	有 無
捜査主任官 の職氏名	刑事課長 警部 〇〇 〇〇 盗犯係長 警部補 〇〇 〇〇 警電 〇〇〇-〇〇〇〇				

(注意) 1 送致と送付に兼用する。

2 左上欄外及び前科，身上，身柄連行欄の各該当部分に赤○を付け，かつ，前科・身上
照会中の場合は，月日を記入すること。

指紋資料
作成番号

〇年321号

(注)記録送致書は，身柄記録の冒頭，勾留請求書の後ろに編てつされています。

【模擬記録⑥ 被疑事実】

(別紙)

被 疑 事 実

被疑者は、金品窃取の目的で、令和○年○月○日午前3時25分ころ、東京都千代田区霞が関1丁目1番4号新宿京子方に侵入し、同所において、同人所有の現金10万円が入った財布1個外20点（時価合計1万5000円相当）を窃取したものである。

以上

【模擬記録⑦ 被疑者供述調書（人定）】

供述調書

国 籍 中華人民共和国
住 居 東京都千代田区隼町1丁目1番4号 ちさいマンション4
29号
職 業 会社員
氏 名 陳 富春 こと チェン フーチュン
1982年7月8日生（〇〇歳）

上記の者に対する住居侵入，窃盗被疑事件につき，令和〇年〇月〇日，
テスト第一警察署において，本職は，あらかじめ被疑者に対し，自己の意
志に反して供述する必要がある旨を通訳人を介して北京語で告げて取り調
べたところ，任意次のとおり供述した。

- 1 通訳人の話す北京語は，よく理解できます。
出生地は，中華人民共和国北京市〇〇洞というところです。
- 2 位記，勲章，年金は日本でも中国でもありません。
- 3 前科，前歴は日本でも中国でもありません。
- 4 家族について話します。

（途中省略）

陳 富 春 ⑦

以上のとおり録取して通訳人を介して対応部分を示しつつ北京語で読
み聞かせたところ，誤りのないことを申し立て，各葉の欄外に署名指印し
た上，末尾に署名指印した。

前同日

テスト第一警察署

司法警察員警部補 ○○ ○○⑦

通訳人

△△ △△⑦

【模擬記録⑧ 被疑者国選弁護人記録表紙（抜粋）】

記番号 5432

(A) B

国選弁護人選任請求に関する記録

勾留番号 1234

フリガナ	
被疑者名	チェン フーチュン

勾留状の発付日（〇月〇日）【今日の日付】 結果 〇月〇日 ☐選任 ☐撤回 ☐却下

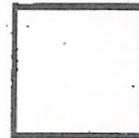
連絡メモ

被疑者国選手続（裁判官が押印する。）

直ちに指名通知依頼する



不請求・撤回



備考

☐ 女性 ☐ 少年 ☐ S名簿③—ア該当（故意の行為により被害者を2名以上死亡させた事件）

☒ (前)事件の国選弁護人 神谷 虎男 ☐ 裁判員裁判対象事件

☐ (当番・扶助)からの切替希望弁護士 (東京・第一東京・第二東京)

☒ 勾留場所と異なるときの取扱警察署 テスト第三 警察署

☐

(以下、裏面等省略)